

令和6（2024）年度第1回栃木県感染症対策連携協議会 議事録

1 開催日時 令和7（2025）年3月4日（火） 18時30分～19時30分

2 開催場所 栃木県庁本館9階会議室3（Web（Zoom）併用）

3 出席者

（1）委員15名

別紙「出席者名簿」のとおり

（2）事務局

県感染症対策課 田野邊課長、永峯総括課長補佐、田口課長補佐、稲葉係長 他
宇都宮市保健所 菅谷課長補佐、高橋係長 他

4 概要

（1）開会

（2）挨拶

岩佐保健福祉部長から挨拶

（3）議事

○事務局から議題（1）「栃木県感染症予防計画及び宇都宮市感染症予防計画の実施状況について」の説明。委員からの意見無し。

○事務局から議題（2）「栃木県新型インフルエンザ等対策行動計画（改定案）について」の説明。

【委員】

今後ガイドラインを作っていくに当たって、救急医療体制、消防、保健所など、セクションが異なるところとの連携を意識して作成していく必要があると思う。セクションを超えた集まりで、ガイドラインを考えていただけると有難い。

また、高齢者の新型コロナワクチンの予防接種は、この冬に初めて定期接種が行われたが、接種率は決して高くなかったと思われるので、その総括をしたうえで、今後、重症化リスクの高い高齢者の接種率をどう上げていくか、例えば自治体による接種券配布や、市町の接種費用の補助など、県の方でも、引き続き対策を考えていただきたい。

【事務局】

救急医療等の連携体制については、下り転院などを含めてトータルでどのように対応していくのか等、関係者と課題を共有し、様々なご意見をいただきながらガイドライン改定作業の中で、検討を進めていく。

予防接種については、今年度から定期接種となり、基本的には各市町において、その接種費用の助成には取り組んでいるところである。今年度は国の助成があったが、来年度はそれが続くのか未定である。国の情報も収集しながら、市町への支援・助言等に取り組んで参りたい。

【委員】

人材の養成ということで、介護施設に1人、コーディネーターを養成するというのは、これから非常に大事だと思っているが、交通費程度の予算を用意していただけないか。

【事務局】

要望として承る。現在、プロジェクト独自のホームページを開設し、コーディネーター養成研修の動画を見られるように対応をしている。1人でも多くの方に感染対策を普及し、またスキルアップを図っていただけるよう取り組んで参りたい。

○事務局から議題（3）「栃木県結核対策プラン（第2期）の計画期間の再延長について」の説明。

【委員】

結核報告数について増加傾向にあり、また本県は外国人の報告数が多いが、診療している現場の感覚では、2024年も結核患者は非常に多かった印象である。おそらく2023、2024年と、増加しているのではないかと考えており、2024年の取りまとめ結果が増加となるようなら対策を検討する必要があるのではないかと考えている。

【事務局】

コロナ禍が明けて、観光客だけではなく、外国人材として事業所で働く方が増えている。令和5年、令和6年と、発生動向調査では、概ね同じぐらいの発生件数であったことから、今年度、関係部局の協力を得ながら、外国人材を雇用している事業主向けのリーフレットを作成し、従業者の方々に健診受診を促してもらうよう取組を行った。引き続き、問題意識を持って、結核対策に取り組んで参りたい。

【会長】

計画期間を再延長することについては、了承とする。

○議題（4）その他 なし

（5）閉会

以上